

従業員向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		体を動かすような活動も十分取り組めるようなスペースを確保しています。活動に応じて机や椅子の場所を移動させるなど、なるべくスペースを広く使えるよう努めています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		質の高い療育の提供を目指し、基準を上回る体制を整えてトレーニングを実施しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの特性を踏まえ、時間や空間が分かりやすい構造化した環境づくりに努めています。教室のスケジュールを掲示し見通しを持てるようにしたり、教室のルールやおもちゃの片付ける場所を視覚的に示したりしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日スタッフで清掃をし、清潔な空間を保てるよう努めています。室内のレイアウトに関しても白を基調とし、活動に集中しやすい環境づくりを心がけています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		気持ちが昂りパニックになったりした時には別室で対応できるように環境を整えています。また別室での活動も必要に応じて行っています。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		運営規定及び運営方針を念頭に、全スタッフが積極的に運営改善に関わり、保護者様の意見も取り入れ、PDCAサイクルにより、業務改善・品質向上に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートを通して、保護者様の意向や満足度の把握に努めています。また、頂いた意見への返答と改善を行っています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の振り返りやミーティングでスタッフ間の意見交換を行い、支援の充実に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は第三者による外部評価は行っていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		本部が実施する研修の他、定期的に事業所内研修を行うよう務めています。外部研修にも積極的に参加し、知識・技術の向上につなげています。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、HPに公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		療育の振り返りをする中で、ご家庭での様子や幼稚園での困り感について把握できるよう努めています。その都度変化する保護者様のニーズやお子さんの課題に寄り添えるよう、保護者様と意見交換をしながら個別支援計画を作成しています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成に際してスタッフ全体で支援会議を開いています。参加できないスタッフに関しては事前に意見を伝えられる機会を設けています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画の内容を担当スタッフに共有し、一貫性のある支援ができるよう努めています。また、療育中の様子についても共有し、チームで支援できるよう努めています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ハッピーテラスでは、明星大学教授 竹内先生に監修を頂いたアセスメントツールなどを利用して、来所されている子どもたちの適応行動の状況を図っています。当事業所でもこれを参考にアセスメントを行っています。これにより支援経過の変化をわかりやすく示すことが出来るようになっていきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援計画は保護者様へのアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題をスタッフ全員で客観的に分析した上で、子どもが家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるよう考慮しています。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日に利用する子どもの児童発達支援計画に基づく支援経過状況や課題等を考慮した上で、メインスタッフがプログラムを考案し、それをもとにチームで検討を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動の中で様々な経験ができるよう、利用者様に合ったプログラムを作成しています。保護者様にも新しい気づきや発見を提供できるよう、ご家庭ではできない活動なども取り入れるようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		現在は契約されている利用者様が少なく、集団療育は実施しておりません。集団の中で過ごすことに課題があるお子さまについては、個別療育の中で人との関わり方や気持ちのコントロールについて学べるような活動を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育前にスタッフ全体で打ち合わせをしています。療育の目的や個別サポートなど、事前に確認してから療育を始めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		児童発達支援計画の内容を担当職員に共有し、一貫性のある支援ができるよう努めています。また、療育中の様子についても共有し、チームで支援できるよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の療育の様子を支援日誌として記録しています。3か月に1度、個別支援計画を更新するタイミングで振り返りとしてまとめ、保護者様にお渡ししています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも3か月1度個別支援計画を更新しており、その都度モニタリングを行っています。また3ヶ月経っていても必要性を判断した場合はモニタリングを実施し、個別支援計画の更新を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議が開催される際には、担当スタッフが参加させていただいています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在対象となる児童がいいため、現状では連携を図っていませんが、必要な場合は継続的な支援を行うため関係機関と連携して取り組んでいきます。
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園や保護者様からご要望があった時には、事業所と園で互いの支援内容や様子について情報共有する機会を設けています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご要望があった利用者様には就学支援シート・支援内容情報提供書を作成しています。発達の状況や障害の特性、支援内容等の情報共有を図り、円滑に引き継がれるよう努めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		通所している子どもに関しては、必要に応じて相談や訪問での情報共有を行っています。今後、研修への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めていく方針です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		利用している子どもが幼稚園に通っているため、療育の時間内に障害のない子どもと触れ合う時間は設けておりません。今後要望があれば検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回療育後に保護者様と振り返りを行っています。保護者様からも園やご家庭の様子をお伺いし、共通理解を持てるよう努めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは行っていませんが、今後、要望があれば検討していきます。毎回、療育の最後に保護者様と振り返りをさせていただいており、その際に、子どもへの声掛けや関わりについての助言を行っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約を頂いた際に、子どもや保護者様が児童発達支援を適切かつ円滑に利用できるよう、丁寧に説明をするよう努めています。疑問点があれば職員の方ですぐに対応できるようにしています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		3ヶ月に1度、モニタリングを実施し、保護者様の意向を聞き入れながら支援計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成した計画内容を保護者様に提示しながら説明し、同意頂き交付しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		療育のフィードバックの時間だけでなく、療育前後の時間など、適時相談に応じるよう努めています。担当の職員だけでなく、子育て経験が豊富な職員など教室全体で助言や支援をしています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	児童発達支援では保護者会を設けていません。放課後等デイサービスでは保護者会を実施予定ですので、ご希望があればそちらに参加していただけるような形をとりたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者が悩みや不安等を一人で抱え込まないように、子どもや保護者からの相談には適切に応じ、信頼関係を築くよう努めています。必要に応じて専門機関の紹介などもしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用者さんが少ないため都度口頭でお話しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員等（ボランティアを含む。以下同じ。）であった者が、業務上知り得た秘密を漏らすことがないよう、誓約書の提出や雇用契約に明記するなどの措置を講じています。個人情報を含む書類については鍵付きキャビネットで保管し、パソコン上のデータについても教室外で閲覧できない設定になっています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な情報を用意するなど、その都度必要に応じて行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は地域住民との関わりがある活動は行われておりません。今後必要に応じて検討して参ります。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		消防署の方に来ていただき、職員の避難訓練を年に2回実施しています。また、子どもの避難訓練も療育中に行っています。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		現在対象となる児童はいませんが、契約時に服薬やてんかん発作の有無について確認をしています。
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、食事提供はしていないため指示書はいただいておりません。アレルギーの有無等については契約時に全員確認しています。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練を定期的に行っています。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を教室内に掲示し、安全に関する取り組み内容の周知を図っています。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書作成時には、即座に職員及び全社に共有を図っています。また年度ごとにまとめ・分析し、事例集として活用しています。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回「虐待防止委員会」を実施しています。虐待になりうる事例はないか、職員間で話し合いをする機会を設けています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		社内で組織的に決定をし、その旨を子どもや保護者に説明をし、個別支援計画に記載することとしています。	